

仮面を剥ぐ！ どんぶり勘定運営

福井に未来はあるか…？

県債利子145億

核燃料税収73億円

県は核燃料税条例を改正し、税率を5%引き上げ17%とした。その半分の8.5%は停止中の原発でも出力割で課税し、県内すべての原発が停止していても約61億円の税収となった。おおい3・4号機の再稼働により核燃料税は当初予算より約12億円税収が上乘せされ73億円となった。現在の県債残高8722億円、毎年約145億円支払われる県債利子払いの半額に相当し、資産家と投資家に支払われていることになる。

人件費1200億

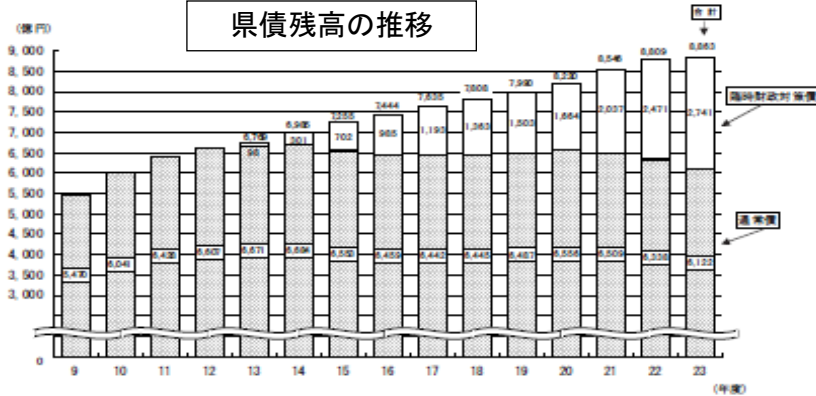
県公募債500億円

福井県の23年度、県税収入は858億。県職員人権費約

1206億に満たず、法人事業税は、平成18、19年度より半減。借金時計によれば県は10月26日現在8722億円。

平成24年度県債発行予定722億円のうち、500億円を県が全国型市場公募債で調達する。公募債は証券会社などを通じて全国の投資家を対象に購入を募る。北陸新幹線や足羽川ダム、舞若道、中部縦貫道、福井国体など大型プロジェクトの資金調達の手段を多様化しリスク回避の狙いで、償還は5年・10年・20年後の元本償還と利息を保証。毎年発行される県債(借金)の直近、5年間をみると、平成20年761億、平成21年906億、平成22年894億、平成23年847億、平成24年発行予定722億円。県の人口は本年9月現在80

県債残高の推移



増え続ける福井県の借金

万人を切った。出生率が高齢者の死亡数を下回り、県外に移り住む県民が流入人口を上回る。毎月平均500人ほどが減少。10年、20年後を予測

すれば、対前年を比較し発行され一向に減少する気配がない。20年後に社会に参加する子供たちへの負担として重くのしかかる。

西川一誠知事(68)は自治省官僚で平成7年県副知事を務め15年より現職3期目、満田誉(52)副知事は総務省地方債課長を抜擢。昭和63年に総務省から県観光物産課長、財政課長を4年間務めた。

官僚思想が強くゴマをすり、江戸参りで国へ金を無心、国は増税と国債発行、9市8町は県より人材も受け入れゴマをすりで予算獲得。少子高齢化が進み右肩上がりの日本経済でない。古い官僚主義と自民党政権の政治体質自体を引きずる。次期選挙での第3極勢力による官僚、政治改革に期待は集まる。

河村たかし名古屋市長は税金で食っているものが楽をする社会は間違っていると訴え、次期衆議院選で政党要件の所

福井県人口の推移 (昭和50年~平成47年)

今後30年間で

総人口	82.0万人	⇒	67.6万人	(14.4万人減)
年少人口 (0-14歳)	12.1万人	⇒	7.5万人	(4.6万人減)
生産年齢人口 (15-64歳)	51.4万人	⇒	37.1万人	(14.2万人減)
老年人口 (65歳以上)	18.6万人	⇒	23.0万人	(4.5万人増)
後期老年人口 (75歳以上)	9.3万人	⇒	14.3万人	(5.0万人増)

属国会議員5人を確保、政治団体「減税日本」の政党設立を受理した。

県税収入 23年度法人事業税5年前より半減

	23年	22年	21年	20年	19年	18年	17年	16年	15年	14年
県税収入	85,797	90,688	92,807	113,871	119,386	104,051	97,017	96,978	93,569	97,231
個・法人県税	31,726	30,095	31,156	33,927	34,561	21,650	19,861	20,080	18,953	21,022
法人事業税	16,945	16,151	19,909	35,254	38,266	33,552	29,673	29,353	26,145	25,993
核燃料税	1,016	7,448	5,122	5,422	3,852	5,824	5,525	4,408	7,062	7,571
地方交付金	132,291	123,397	109,003	115,220	119,830	123,949	126,881	131,491	139,153	152,946
県債発行額	84,734	89,428	90,647	76,076	71,386	73,925	77,795	80,081	86,231	85,568
県債利子払い	80,500	63,505	58,162	53,212	53,340	56,596	60,867	69,171	58,579	54,824
県債元金払い	14,738	14,384	14,374	14,274	14,308	14,247	14,377	15,321	16,153	17,750

負債総額646億

福井銀行大損害

小野グループ3社に

更生法適用申請

福銀178億・

北銀128億・みず銀

融資回収不能

政治に頼ることなく企業合併と企業買収(M&A)で急成長をし、県の経済と政治を支えてきた小野グループ3社(非上場会社)を福井銀行が10月26日、東京地方裁判所に会社更生法の適用申請に踏み切った。負債総額646億円。

福井銀行本店は3社に3億相当の担保で約181億円を融資し、178億円が回収不能の恐れがあると発表。今年4~9月期の損益は16億円の黒字から136億の赤字に転落する見通し。北陸銀行福井支店は貸出金約128億円が取り立て不能の恐れと発表。みずほ銀行福井支店は未発表。福井銀行株は10月29日、1